

事業所向け 放課後等デイサービス自己評価表

2016年度

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|-------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか | 2 | 1 | | ワンフロアをパーテーションで区切り個室として使用。その他のスペースは定員に対して充分ある |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 4 | | | 児童指導員2名、保育士2名を含め6名の支援員を配置。個別対応が必要な児童に対してはマンツーマンの支援を提供している |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | 3 | | | 事業所入口はスロープであるが、出入口の広さは充分とはいえず、バリアフリーという点では今後の検討課題である |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | 3 | | | 日々の打合せや定期的な会議の場において、全支援員が業務内容を振り返り、新たな課題・目標に向け意見交換しながら、日々の業務に向き合っている |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | | 1 | 保護者向け評価表にて意向を把握するほか、個別支援計画書の作成にあわせて保護者の要望をお聴きする機会を設けている。業務改善に活かす努力をしていきたい |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | | | 1 | 前年度まで結果を公表していなかった |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | 1 | 2 | 外部評価は行っていないため、実施し業務改善につなげていきたい |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 4 | | | 各支援員が必要な研修に参加し、さらに研修内容を事業所にて報告し資質向上に努めている |
| 適切な支援の 提 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | 1 | | 個別支援計画書作成にあたっては、本人・保護者より充分聞き取りを行ったうえでアセスメントを実施している |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | 3 | | | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 4 | | | 日々の活動について、毎朝ミーティングを行い、計画している |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 3 | | 1 | 児童によっては、毎回同じ流れで同じ内容の活動をすることで落ち着いて過ごすことができる場合もあるが、活動の幅を広げることができるよう配慮が必要 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | 3 | | | 利用時間によって、活動内容を検討している |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | 3 | | | 活動内容に偏りがないよう、個別活動・集団活動の両方を提供するよう計画している |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | 4 | | | 日々の活動について毎朝、細かな打合せを実施している |

| | | | | | | |
|--------------------------|--|--|---|---|--|---|
| 〜供 | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | 3 | | | 全員が参加できる朝の打合せにて、前日の支援の振り返りを細やかに実施し、改善する点など話し合いの場を持っている |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | 4 | | | 日々の記録は全支援員が行い、記録に基づいた気づき等を支援の改善につなげている |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | 4 | | | モニタリングにおいては、支援員間で話し合い、見直しを検討している |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか | 2 | | | 児童によっては活動が固定しがちであるため、基本活動を振り返りながら、活動の幅を広げていく必要がある |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 3 | | | 基本的に児童発達支援管理責任者が出席するが、日頃より支援員間で情報共有に努めている |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 4 | | | 学校への迎えの際に担任教諭との情報共有に努め、必要に応じて支援について話す機会を設けている。地域の小学校との連携については充分とは言えず、その方法等検討が必要 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | 2 | 1 | | |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | 1 | 1 | | 利用開始の際、就学前に関わっていた機関へのアプローチはしていないため、保護者にも確認を取りながら今後は情報共有に努めたい |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | 2 | 1 | | 相談支援員を通して、放デイでの様子を提供してもらう形であることが多い |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 3 | | | 療育支援センターの研修を積極的に受講している |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | 3 | 交流の場は持っていないため、今後どのような形での実施が可能か検討が必要 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | 3 | 1 | 1 | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 5 | | | 日々の迎え時に、児童の様子については細かく伝え、連絡帳を活用しながら共通理解ができるよう努めている |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | | 1 | 3 | 個別面談の中で保護者の話を聞き取り、必要に応じてペアレント・トレーニングの支援を提供していきたい | |

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 3 | | | 運営規程、利用者負担等は契約の際に説明し、支援の内容は、その都度説明を行っている |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 4 | | | 送迎時や個別面談において、育児の悩みや相談について、必要に応じて助言し支援を心がけている |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | 4 | 保護者の意向を確認しながら、保護者同士の連携をサポートしていく |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 4 | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | 4 | | | 『はっぴい通信』にて、事業所の活動内容やその他情報を発信している |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | 4 | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 3 | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | 1 | 2 | 事業所として地域住民を招待する行事は実施できていない |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 4 | | | マニュアルの詳細については説明不足であるため、今後は詳細についても内容の説明を行う |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | | | 訓練に参加する児童に偏りがないよう計画的に実施していく必要がある |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 3 | 1 | | 園内・外の虐待防止に関する研修に参加している |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | 4 | | | 身体拘束については、話し合いのもと決定し、個別支援計画書に記載している |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか | 4 | | | アレルギーを持った児童については、家庭・学校・医療機関と連絡体制を取り、Dr.の指示書に基づく対応を取るように周知している |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | 3 | | | |